

自然共生サイト 申請支援実績



弊社支援認定サイトマップ

令和6年度前期までに、弊社が支援した
10のサイトが認定されました。

GF支援

- 認定済
- 審査中



令和6年度前期までに弊社が支援した 10のサイトが認定されました。

| 状況 | サイト名 | 申請者名 | 所在地 都道府県 | 所在地 市町村 | 認定 時期 |
|-----|---|-----------------------|-------------|------------|----------|
| 認定済 | 日立グループ水戸事業所 | 株式会社日立製作所 | 茨城県 | ひたちなか市 | R5後期 |
| 認定済 | 鳥川ホタルの里 | 愛知県岡崎市 | 愛知県 | 岡崎市 | R5前期 |
| 認定済 | 人間環境大学 岡崎キャンパス演習林 | 学校法人河原学園 人間環境大学 | 愛知県 | 岡崎市 | R5前期 |
| 認定済 | ビオトープながおか | NPO Longhill Net | 愛知県 | 稲沢市 | R5前期 |
| 認定済 | ソニーグローバルマニュファクチャリング & オペレーションズ(株)幸田サイト | ソニーグループ株式会社 | 愛知県 | 額田郡幸田町 | R5前期 |
| 認定済 | 奥びわ湖・山門水源の森 | 山門水源の森を次の世代に 引き継ぐ会 | 滋賀県 | 長浜市 | R5前期 |
| 認定済 | コウノトリ育む中筋の里地里山 | 兵庫県豊岡市 | 兵庫県 | 豊岡市 | R5前期 |
| 認定済 | 恵比寿ガーデンプレイス サッポロ広場 | サッポロ不動産開発 株式会社 | 東京都 | 渋谷区 | R6前期 |
| 認定済 | 大峰高原 | 大峰高原里山整備利用推進 協議会 | 長野県 | 池田町 | R6前期 |
| 認定済 | トヨタ紡織 多治見技術センター | トヨタ紡織株式会社 | 岐阜県 | 多治見市 | R6前期 |
| 申請中 | 八竜緑地及び金城学院大学の森 | 愛知県名古屋市 | 愛知県 | 名古屋市 | R6後期 |

弊社支援認定サイト

25 日立グループ水戸事業所

株式会社日立製作所

茨城県 ひたちなか市

場所 茨城県ひたちなか市

面積 9.78ha

活動目的 「地域生態系の形成・維持と30by30実現への貢献、従業員・地域住民の意識啓発による生物多様性保全主流化推進の場づくり」を目的とし、事業所に残された自然が、近隣の生態系ネットワークを形成し貴重な自然資本であることを自覚し、従業員と共に維持と向上を図り、ネイチャーポジティブを実現することを目標としている。



サイト概要 日立製作所水戸事業所は、都市化が進行しているひたちなか市に位置している。自生するアカマツ高木が事業所創設時の森の姿に近い形で維持されるとともに、サギ山地区と呼ばれている緑地帯には、当該地域の潜在自然植生と推定されるタブノキ林やエノキ林を中心とした高木林がまとまって維持・管理されている。水戸事業所内のサギ山地区と事業所内緑地帯には、2023年の現況調査の結果、植物127種、哺乳類2種（生息痕）、両生類1種、爬虫類2種、昆虫類184種、陸産貝類2種、クモ類3種等が確認され、都市域にも関わらず外来種の侵入は少ないことが確認されているなど、多様で健全な生態系が維持されていると評価できる。希少な生物としてハヤブサ等が確認されている。

弊社支援認定サイト

105 鳥川ホタルの里

愛知県岡崎市

愛知県 岡崎市

場所・面積

愛知県岡崎市、651 ha

管理目的

当サイトの管理目的は「ゲンジボタルをシンボルとする生物多様性が豊かで健全な里地里山環境の維持」である。鳥川町の全戸が会員として活動に参画する鳥川ホタル保存会を中心に関係諸機関が連携することによって、この目的に資する管理を行う。

サイト概要

鳥川町の河川はゲンジボタルの生息地として岡崎市の天然記念物に指定されており、5月から6月にかけて多くのゲンジボタルが飛び交う。2018年には最も多い日で1,462匹ものゲンジボタルが確認されている。ゲンジボタルは地元住民によって保全されており、地区を象徴する生物として大切にされている。1994年には鳥川ホタル保存会「(以下、「保存会」という。)」が結成され、鳥川町の全戸が会員として活動に参画するなど、地区一丸となってゲンジボタルが生息可能な環境を維持している。保存会は地区全体の環境整備や環境保全も行っており、その内容は河川・農水路・湧水の管理や水田周辺の草刈り、山林や登山道、トレッキングコースや猪垣の手入れなど多岐にわたる。また、保存会で管理する「鳥川ホタルの里湧水群」は平成の名水百選に選定されており、その清らかな水を求めて、市内外から多くの人々が来訪する。これらの環境整備、環境保全活動が、健全な里地里山環境の維持に貢献している。また、里地里山環境を生息生育地とする希少種がいくつか確認されている。活動拠点として、平成22年に閉校となった旧鳥川小学校を活用した「岡崎市ホタル学校(以下「ホタル学校」という。)」がある。ここでは、ゲンジボタルをはじめ当該地域の自然の魅力、保存会の取組みを常設展示しているほか、小中学生や家族連れを招いての環境学習イベントを開催している。また、環境学習イベントを通じた現地モニタリングも行っており、情報発信の収集・発信拠点、多様な主体の交流拠点として機能するなど、鳥川地区の環境保全に貢献している。なお、鳥川町は令和4年4月1日に岡崎市自然環境保全条例に基づく「岡崎市自然ふれあい地区(以下、「ふれあい地区」という。)」に、鳥川町全域が一体的に指定された。「市民がゲンジボタルを通じて豊かな自然に触れることができる地区である」ことが指定理由であり、「行政・市民・事業者の協働の下、自然環境の保全・創出・活用を図る地区」として位置づけられ、条例に基づき生物多様性の保全が担保されている。



土地利用の変遷

- ・ 集落の周囲には農作物が猪の被害に遭わないよう、石を積んで築かれた猪垣がみられるが、江戸時代に作られたものといわれている。地区住民が自然と共生しながら生活を営んでいた歴史が今も続いている地域といえる。
- ・ 1950年代、ゲンジボタルが乱舞していたものの、1970年代以降、徐々にゲンジボタルが減少、ほとんどみられない年もあった(その原因としては1960年代以降の河川改修事業や農地改良事業と農業の使用などが複合的に影響したのではないかと考えられる)。1994年「昔のように沢山のホタルが乱舞する鳥川を取り戻そうじゃないか。」という趣旨で、鳥川小学校と一緒にホタル保存会が立ち上げられた。その後、河川環境の保全に係る各種活動の実践、使用農業の見直しなどが積極的に行われ、現在に至っている。
- ・ 周辺の森林部については、1960年代まで薪炭材の供給地として用いられていたが、現在はスギ・ヒノキ植林が広域に広がっている。

サイト周辺の環境

- ・ 鳥川町は四方を標高300-400m程度の山に囲まれており、他地区との境界は(河川の地区外への流出部を除いて)尾根上に引かれている。このため、地区内に降った雨は全て地区内の鳥川、大原川に集水される一方、近隣からの水の流入はなく、サイト周辺の環境が鳥川町(とりわけ水域の環境)に与える影響は小さいものと考えられる。
- ・ 地区内には新東名高速道路とそのトンネルが東西に横断している。鳥川町の南側は豊川市と接しており、スギ・ヒノキ植林の多い山腹を経て水田や団地の多いやや谷あいの首羽蒲郡IC周辺に接続する。また、地区の周囲にある施設としてゴルフ場と採石場が1つずつみられる。それら以外はほとんどが森林で、多くがスギ・ヒノキ植林である。
- ・ 鳥川は鳥川町を通過したのち約2.7km下流で男川に合流する。合流するまでの区間はスギ・ヒノキ植林が優占するやや暗い環境の谷筋である。男川の形成する谷は、集落や水田が点在しており、この区間にもゲンジボタルが生息している。

弊社支援認定サイト

106 人間環境大学 岡崎キャンパス演習林

学校法人河原学園 人間環境大学

愛知県 岡崎市

場所・面積

愛知県岡崎市、3.8859ha

管理目的

生態学に関する実習や環境教育の場として、また地域の生物多様性保全に貢献することを目的とする。

サイト概要

愛知県岡崎市の南東に位置し、山の上に建設された人間環境大学岡崎キャンパスを取り巻く森林環境を活かした演習林である。演習林は、常緑広葉樹を主とし、針葉樹や落葉広葉樹、多様な草本や木本によって構成されている。また、演習林内には湧水による水の流れもあり、湿地帯も存在している。動物としては、演習林にはイノシシ、シカ、タヌキ、キツネ、サルといった大型から中型の哺乳類や、ムササビやリスなどの樹上で暮らす哺乳類が多く生息している。鳥類では、フクロウの生息も確認されている。また、天然記念物に指定されている種も含め、昆虫も多様な種の生息が確認されている。授業での実習科目や卒業研究での利用以外にも、クラブサークル活動による調査や、学生の自由な散策が行われている。人と自然とが共生する環境として維持管理している。

土地利用の変遷

元々は全域が山林と田であったが、昭和45年に当時の所有者により一部が宅地となり、平成4年に学校法人岡崎学園が所有することで学校用地となった。学校用地となった後は、敷地の中心部に校舎を建造したが、周辺環境はそのまま山林として残された。平成26年に所有者が学校法人河原学園に変わった後も、校舎を含め敷地内の改変はなく、演習林を含む大学キャンパスとして、環境の維持や保全管理を実施している。

サイト周辺の環境

愛知県岡崎市の中心部よりも中山間地域側に位置する。申請サイト周辺には、1 km圏内に国道1号線や東名高速道路、新東名高速道路といった幹線道路、名鉄本線が開通している。また、申請サイトより南西側には住宅地、南側には小学校がある。一方、西側からぐるりと北側や南東側にかけて広葉樹やスギを中心とした人工林といった様々な樹種の山林が広がる。さらに北側にはゴルフ練習場跡地が隣接するが、山林を含め放棄された状態となっている。北西側約2 km程には、愛知県と岡崎市の指定天然記念物である北山湿地がある。

アピールポイント

校舎と隣接した演習林のため、実習などで演習林内に人が入ることも多く、また生物が校舎付近に巣を作るなど、人と生物が常に密接に関係合っている。その中において、大学での生態学に関する学びを活かし、日頃より生物の生息状況調査や植生調査によって、人と自然との共生を目指した管理計画を実施し、環境保全を進めている。また、演習林内の山野や湿地部といった多様な環境によって、フクロウや水生昆虫といった特徴的な環境でしか生息できない生物の保全にも注力している。大学がJWMS認定プログラム制度への参加校であり、また、ビオトープ管理士資格の一部免除認定校であることから、生態系保全の人材育成に向けた学内での実地研修の場としても活用している。



弊社支援認定サイト

115 ビオトープながおか

NPO Longhill Net

愛知県 稲沢市

場所・面積

愛知県稲沢市、0.1338 ha

管理目的

地域住民の憩いや環境教育、レクリエーションの場として、また地域の生物多様性保全に貢献することを目的。

サイト概要

「ビオトープながおか」は、地域のいこいの場を創出することに加え、自然豊かな長岡地区の多様な生き物が生息できる空間を創造することを目的に、農林水産省の補助事業である経営体育成基盤整備事業により、愛知県が整備したもの。

魚の棲み家として池内に設置した木製沈床は愛知県産の間伐材を用いるなど、資源の有効活用に努めた。また、あずまや、パーゴラには愛知県産のひのきを用いるなど愛知県産木材の利用にも積極的に取り組んでいる。

土地利用の変遷

元々、水田だった場所を整備し、在来種の生息地を維持するために2011年にビオトープを設置。

サイト周辺の環境

愛知県稲沢市の田園地域に位置する。申請サイト周辺は、田園や畑が広がっている。

水源は木曾川用水海部幹線水路の馬飼東分水工から取水する農業用水（循環利用）を利用して馬飼東分水工から既設水路（U字溝）を流下する農業用水をビオトープながおか地点にて取水柵を設けて取水ポンプ（直径80mm）により、せせらぎ水路へ揚水し、池へ導水している。



アピールポイント

ミナミメダカは愛知県レッドリストVUに指定されており、その保全に貢献している。地域の方々との交流を重視しており、アオミドロ除去や草刈りの維持管理等日常的な管理には地域の企業にも参加していただいている。また年に1回観察会を実施し（8月）、周辺地域の園児、小学生、保護者の環境学習の場としても活用している。

弊社支援認定サイト

118 ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ(株)幸田サイト ソニーグループ株式会社 愛知県 額田郡幸田町

場所・面積

愛知県額田郡幸田町、面積：18.9 ha

管理目的

地域や社員の環境コミュニケーションの場、学びの場となり、地域の在来種や生物多様性保全と回復に貢献すること。

サイト概要

1972年の創立時から「緑豊かな公園工場づくり」を目標に、四季を感じる緑と工場の調和を考えた緑地整備を実施。隣接する森を「ソニーの森」と名づけ、遊歩道の整備、アスレチックや展望台を設置して、子どもたちに環境学習の場として活用。ソニーの森は、鳥獣保護区（愛知県幸田北部鳥獣保護区）に指定。「フクロウの棲む森づくり」、「在来種の苗木を育てる活動」を行っており、地元企業と協働し、地域の自然再生活動を実施。



土地利用の変遷

愛知県額田郡幸田町にある里山に1972年、弊社工場が設立しました。「みどりの公園工場」を目指して社員の手による緑地整備活動が実施され、工場の設立で一度失われた緑地を再生し、現在の緑地となる。

サイト周辺の環境

コナラや常落混交林など里山の環境が保全、岡崎市の市街地に隣接し、近隣地域に残された里地里山環境として立地する。

アピールポイント

愛知県では準絶滅危惧になっているフクロウの生息域であり、地域の在来種を保全する目的で愛知県の西三河生態系ネットワーク協議会へ参画し、どんぐりの苗木を作って植樹を行う活動を地域の団体と協力して行っている。また、地域の小学校の環境学習などで学びの場にも活用される「みどりの公園工場」である。

弊社支援認定サイト

126 奥びわ湖・山門水源の森

山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会 滋賀県 長浜市

【場所・面積】【滋賀縣長浜市西浅井町山門】、【面積】63.5ha

【管理目的】

- 「山門水源の森」がもつ保健休養機能や水源かん養機能の維持・向上および、山門水源の森の活用ならびに山門湿原の保全を図ることを目的とする。

【サイト概要】

- 滋賀縣長浜市西浅井町山門茶屋地先に位置する湿原を含む二次林。主な植生は、コナラ・アカマツ・ブナ・ミズナラ・アカガシ林からなり森域の40%はヒノキ林。

森林は冷温帯と暖温帯の植物の接点である。また湿原はミツガシワ群落を代表とする湿性植物や50種を超えるトンボが棲息するなど生物多様性に富んでいる。

- 湿原内は生物保護のため立ち入り禁止にしているため、麓に湿原に分布する動植物を観察しやすいようにピオトープを設置している。

【サイト周辺の状況】

- 本地域と同様標高の低い部分はコナラ-アカマツ林とヒノキの植林地で、標高の高い部分にはブナ-ミズナラ林が分布している。本地域に隣接する西側には牧場跡地があり、パイオニアであるススキとメリケンカルカヤ等の外来種が広く分布している。

【土地利用の変遷】

- 全域がおよそ900年前から薪炭林として1960年代前半まで活用されてきた。1987・1988年に全域の40%にヒノキの植林がなされ今日に至っている。
- 湿原の一部は、1960年代に一部が人工改変された。

【活動のアピールポイント】

- 年間を通じて観察コースの補修・保全、林床整備、希少種を含む動植物の保全、来訪者に生物多様性保全を中心としたガイドを実施。特に2010年以降増大したシカの食害による下層植生の衰退を食い止める防獣ネットを設置し、壊滅状態の下層植生の再生に努めている。

区域全体図・写真①



区域全体図・写真②



弊社支援認定サイト

148 コウノトリ育む中筋の里地里山

兵庫県豊岡市

兵庫県 豊岡市

場所・面積 兵庫県豊岡市、56.4ha 保護地域との重複がある場合(把握している場合) 重複部分の面積44.4ha

管理目的 コウノトリ(環境省RL 絶滅危惧IA類、特別天然記念物)をシンボルとして、多様な生物の生息環境の保全を図るとともに、隣接する山塊(大市山)の保全及び活用を図る。

サイト概要 兵庫県豊岡市加陽に位置する農地、隣接する山塊及び市が整備した水辺公園で構成される。山裾に整備された市立加陽水辺公園は、湿地保全活動や自然体験活動の拠点施設となっている。公園内には池やビオトープ等の湿地環境が整備され、維持管理されている。
水田および湿地にはコウノトリが飛来し、重要な生息環境として機能している。また、湿地周辺には環境省RL準絶滅危惧種フジバカマをはじめとする希少な植物が生育する等、生物多様性に富んでいる。山塊からは湧水が水田や湿地に流れ込み、水辺環境の維持に欠かせない要素となっている。



1

弊社支援認定サイト

901 恵比寿ガーデンプレイス サッポロ広場 サッポロ不動産開発株式会社

東京都

渋谷区

場所 東京都渋谷区

面積 0.44ha

活動目的 サッポロ広場の継続的な管理を通じて、在来種を中心とした健全な生態系の保全と充実に取り組むとともに、多様なステークホルダーを巻き込み、グループ会社の事業特性に応じたイベントを実施することで、生物多様性の啓発に取り組む。



サイト概要 東京都渋谷区恵比寿に位置する恵比寿ガーデンプレイスは、都心にありながら敷地の約6割がオープンスペースである複合施設。その中にあるサッポログループ本社棟前の「サッポロ広場」は一般に開放された庭園で、モミジやツツジなど季節の移ろいを感じることができる。庭園の奥には兵庫県の西宮神社から御分霊（えびす様）を祭る「恵比寿神社」の社があり、常緑樹が多く見られる。

弊社支援認定サイト

902 大峰高原

大峰高原里山整備利用推進協議会

長野県 池田町

場所 長野県北安曇郡池田町

面積 116ha

活動目的

- ・里山の整備・利用活動を通じ、自立的かつ持続的な里山の管理を図り、地域の活性化に資する。
- ・二次的な環境とそれに依存する動植物の保全に努め、生物多様性の観点から「豊かである」といえる自然環境を維持する。

サイト概要

大峰高原は池田町北部に位置する標高約1000mの高原である。南北に約3kmのなだらかな稜線が続き、西側は松本盆地に、東側は広津地区に落ち込む。かつては大峯山と呼ばれており、近代までは稜線部を中心に草原が広がっていた。戦後、開拓団の入植やリゾート化計画など土地利用の変遷を経て、草原の利用は徐々に縮小し、樹林化が進行している。一方で、七色大カエデ、中カエデ、白樺の森やキャンプ場といった自然資本を活かした観光地となっており、秋季には県内外から年4万人が来訪する。大峰高原里山整備利用推進協議会による、森林整備や教育、交流活動が行われている。また、草原性の希少動植物をはじめとした二次的環境を好む生物の生息地となっている。



弊社支援認定サイト

903 トヨタ紡織 多治見技術センター

トヨタ紡織株式会社

岐阜県 多治見市

場所 岐阜県多治見市

面積 28.43ha

活動目的

トヨタ紡織グループは「トヨタ紡織生物多様性基本方針」を策定し、「自然と共生する社会の実現への貢献」を指針としている。本センターは上記の防災対策などからその先進事業所といえる。活動目的は、従来行ってきた管理を基本としながら生物多様性の価値を考慮した保全を行うことで、本センターにおける生物多様性の価値を維持することである。



サイト概要

本サイトは、岐阜県多治見市と土岐市にまたがる丘陵地帯（標高約220～240m）に位置する。チガヤなどからなる人工草地、アカマツ群落を中心に、ヨシ、セイタカアワダチソウ、ススキ、シバなどが生育する遷移初期段階の生態系がサイトの大半を占める。

当サイトは当初裸地であったところを積極的に緑化することで地域の防災・減災に貢献している。また、国や県のレッドリストに掲載されている昆虫などの重要種が確認されており、それらの生育の場として重要な役割を果たしていると考えられる。

自然共生サイトについてのご相談はこちら！

● お問い合わせ ●

グリーンフロント研究所(株) 《 担当:小串 》

所在地:愛知県岡崎市稲熊町山神戸7-12

✉ office@gfken.com ☎ 0564-47-7970



会社HP



動画公開中！